

検査部にて臨床検査を受けた患者さんへ

【研究課題】

検査部における新規測定試薬および測定機器の評価（包括申請）

FDP測定試薬及び、D-Dimer測定試薬の性能評価 3333-96

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院検査部

研究責任者 検査部 主任臨床検査技師 久米幸夫

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 アイ・エル・ジャパン株式会社

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2015年03月12日 ～ 2020年03月11日

【対象となる方】

2015年03月12日～2020年03月11日の間に当院外来受診および入院された患者さん。通常診療の一環として提出された検体の残検体を使用するため、採血量が増えることもなく、本研究により新たな侵襲は加わりません。

【研究の意義】

FDP(fibrin and fibrinogen degradation product)とDダイマー(D dimer)は血栓症やDICの診断や検出に有効な項目です。また、それらの同時測定は一次線溶と二次線溶の鑑別や線溶の原因検索に重要な項目です。しかし、各社からそれぞれの試薬が上市されており、その値は未だ統一されていないのが現状です。

【研究の目的】

本研究では、ACL TOP凝固自動分析装置の専用試薬である（添付の通りヒーモスアイエルDダイマー500・ヒーモスアイエルDダイマー1000とヒーモスアイエルFDP）に関して、血漿中FDPおよびDD測定法が、これまでの試薬と比較し、十分な性能を有することの検証を行うことを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。本研究では、廃棄前の残検体を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのない

よう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当検査部において研究責任者（久米 幸夫）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等にて発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、アイ・エル・ジャパン株式会社から支出されています。

○本研究は、アイ・エル・ジャパン株式会社より研究資金・機器の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

○本研究は、アイ・エル・ジャパン株式会社より研究資金・機器等の提供を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、アイ・エル・ジャパン株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2015年2月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 久米幸夫

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35047） FAX：03-5800-8630

Eメールでのお問い合わせ：kumey-lab@h.u-tokyo.ac.jp